



新年あいさつ

公益社団法人三次法人会

会長 菅原 暢之

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、当法人会の事業活動に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、我が国の経済は、“ポストコロナ”に向けた欧米の急激な社会経済活動再開と、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギーの需給逼迫などを背景とした物価上昇に飲み込まれました。その影響は、輸出を中心に企業業績を支えた、円安が輸入原材料価格の上昇を助長する構図に暗転しております。

また、地域経済と雇用を担っている、地方の中小企業は加速する少子高齢化に伴う人材不足と雇用賃金の高騰という問題に直面しています。

我が国経済の土台が揺るがないよう、こうした現状をしっかりと認識し、問題意識を背景に、全国法人会総連合では、税・財政改革のあり方や、経済活性化と中小企業対策等を集約した提言書を作成しております。当法人会では、令和4年12月に三次市長及び三次市議会議長を訪問し、令和5年度の税制改正提言活動を行いました。

また、昨年11月には、コロナ禍で1年間延期となっておりました、社団化30周年記念式典並びに祝賀会を挙行いたしました。

さらに、当法人会の軸足でもある、納税意識の高揚と税知識の普及活動につきましては、税務当局、親会、青年部会、女性部会で連携を図り、三次市内の小・中学校での租税教室開催に積極的に取り組み、税に関する絵はがきコンクールも開催し、三次市内小学校から多数応募いただき、表彰式も行う事が出来ました。昨年は、税務研修会や、税金クイズなど、市民の皆様、会員の皆様と触れ合いながらの活動が出来ました事を大変嬉しく思います。

引き続き社会に貢献する組織であり続けたいとの思いをもって、税を中心に地域に密着した活動を展開していきます。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸、そして企業の繁栄、地域社会の発展を祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。